

成果の説明書

(氏名) 山崎 薫里	(学部) 経済学部
1 重要事項	
<p>【研究活動】</p> <p>連続増加関数の拡張と関連する応用について、トポロジーシンポジウム、および、ジェネラルトポロジーシンポジウムで講演した。</p>	
<ul style="list-style-type: none">● 発表論文 <p>Kaori Yamazaki, Extensions of continuous increasing functions, Topology and its Applications, 335 (2023), 108566 (発行: Elsevier Science).</p>	
<ul style="list-style-type: none">● 講演 <ol style="list-style-type: none">1. 山崎 薫里, 連続増加関数の拡張と経済学における応用, 2023. 8. 11, 第 70 回トポロジーシンポジウム, 奈良女子大学 (招待講演).2. 山崎 薫里, The cardinality of continuous functions which represent multi-utility of the preorder, 2023. 12. 7, 2023 年度ジェネラルトポロジーシンポジウム, 神奈川大学.	
<ul style="list-style-type: none">● 科学研究費補助金採択 <p>「単調作用素の構造の解明と選好理論への応用」の研究 (基盤研究(C), 研究代表者).</p>	
<ul style="list-style-type: none">● その他 <p>国際専門誌のレフリー, および, Math Reviews のレビュアーを務めた。</p>	
<p>【教育活動】</p> <p>授業では, タブレット板書を用いることで, 学生が手を動かして理解することを重視した. 演習 II では, 履修生全員が自分のテーマに沿った卒業論文をまとめ提出することができた。</p>	
<p>【社会・地域貢献】</p> <ul style="list-style-type: none">● 「ラジオゼミナール」出演, ラジオ高崎, 2023 年 5 月 5 日, 5 月 12 日.● 模擬授業, 栃木県立真岡女子高等学校 1, 2 年生, 2023 年 11 月 2 日.	
2 その他の事項	
図書館長・情報基盤センター長を務めた。	
3 次年度以降の計画・抱負	
<p>研究では, 上記テーマの研究に関連する新たな結果を論文としてまとめたい.</p> <p>大教室における数学の授業について, 学習効果を高める課題の提出方法を検討したい。</p>	